	あきのたの	かりほのいおの	とまをあらみ	わがころもでは	つゆにぬれつつ
2	はるすぎて	なつきにけらし	しろたえの	ころもほすちょう	あまのかぐやま
	あしびきの	やまどりのおの	しだりおの	ながながしよを	ひとりかもねん
4	たごのうらに	うちいでてみれば	しろたえの	ふじのたかねに	ゆきはふりつつ
5	おくやまに	もみじふみわけ	なくしかの	こえきくときぞ	あきはかなしき
6	かささぎの	わたせるはしに	おくしもの	しろきをみれば	よぞふけにける
	あまのはら	ふりさけみれば	かすがなる	みかさのやまに	いでしつきかも
8	わがいおは	みやこのたつみ	しかぞすむ	よをうじやまと	ひとはいうなり
9	はなのいろは	うつりにけりな	いたずらに	わがみよにふる	ながめせしまに
	これやこの	ゆくもかえるも	わかれては	しるもしらぬも	おうさかのせき
	わたのはら	やそしまかけて	こぎいでぬと	ひとにはつげよ	あまのつりぶね
	あまつかぜ	くものかよいじ	ふきとじよ	おとめのすがた	しばしとどめん
	つくばねの	みねよりおつる	みなのがわ	こいぞつもりて	ふちとなりぬる
	みちのくの	しのぶもじずり	たれゆえに	みだれそめにし	われならなくに
<u> </u>	きみがため	はるののにいでて	わかなつむ	わがころもでに	ゆきはふりつつ
	たちわかれ	いなばのやまの	みねにおうる	まつとしきかば	いまかえりこん
	ちはやぶる	かみよもきかず	たつたがわ	からくれないに	みずくくるとは
18	すみのえの	きしによるなみ	よるさえや	ゆめのかよいじ	ひとめよくらん
<u> </u>	なにわがた	みじかきあしの	ふしのまも	あわでこのよを	すぐしてよとや
20	わびぬれば	いまはたおなじ	なにわなる	みをつくしても	わんとぞおもう

□ ② いまこんと	いいしばかりに	ながつきの	ありあけのつきを	まちいでつるかな
② <u>ふ</u> くからに	あきのくさきの	しおるれば	むべやまかぜを	あらしというらん
② つきみれば	ちぢにものこそ	かなしけれ	わがみひとつの	きにはあらねど
② 20 たびは	ぬさもとりあえず	たむけやま	もみじのにしき	かみのまにまに
② なにしおわば	おうさかやまの	さねかずら	ひとにしられで	くるよしもがな
② おぐらやま	みねのもみじば	こころあらば	いまひとたびの	みゆきまたなん
② みかのはら	わきてながるる	いずみかわ	いつみきとてか	こいしかるらん
② やまざとは	ふゆぞさびしさ	まさりける	ひとめもくさも	かれぬとおもえば
② <u>こころあ</u> てに	おらばやおらん	はつしもの	おきまどわせる	しらぎくのはな
■ ③ ありあけの	つれなくみえし	わかれより	あかつきばかり	うきものはなし
◯ ③ あさぼらけ	<mark>あ</mark> りあけのつきと	みるまでに	よしののさとに	ふれるしらゆき
② やまがわに	かぜのかけたる	しがらみは	ながれもあえぬ	もみじなりけり
○ ③ ひさかたの	ひかりのどけき	はるのひに	しずごころなく	はなのちるらん
	しるひとにせん	たかさごの	まつもむかしの	ともならなくに
◯ ③ ひとはいさ	こころもしらず	ふるさとは	はなぞむかしの	かににおいける
◯ 36 なつのよは	まだよいながら	あけぬるを	くものいづこに	つきやどるらん
□ ③ しらつゆに	かぜのふきしく	あきののは	つらぬきとめぬ	たまぞちりける
③38 わすらるる	みをばおもわず	ちかいてし	ひとのいのちの	おしくもあるかな
③ あさじうの	おののしのはら	しのぶれど	あまりてなどか	ひとのこいしき
■ 40 しのぶれど	いろにいでにけり	わがこいは	ものやおもうと	ひとのとうまで

41)	こいすちょう	わがなはまだき	たちにけり	ひとしれずこそ	おもいそめしか
<u>42</u>)	ちぎりきな	かたみにそでを	しぼりつつ	すえのまつやま	なみこさじとは
43)	あいみての	のちのこころに	くらぶれば	むかしはものを	おもわざりけり
44)	あうことの	たえてしなくは	なかなかに	ひとをもみをも	うらみざらまし
45)	あわれとも	いうべきひとは	おもおえで	みのいたずらに	なりぬべきかな
46)	ゆらのとを	わたるふなびと	かじをたえ	ゆくえもしらぬ	こいのみちかな
47)	やえむぐら	しげれるやどの	さびしきに	ひとこそみえね	あきはきにけり
48	かぜをいたみ	いわうつなみ	おのれのみ	くだけてものを	おもうころかな
49	みかきもり	えじのたくひの	よるはもえ	ひるはきえつつ	ものをこそおもえ
50	きみがため	おしからざりし	いのちさえ	ながくもがなと	おもいけるかな
<u>(51)</u>	かくとだに	えやはいぶきの	さしもぐさ	さしもしらじな	もゆるおもいを
(52)	あけぬれば	くるるものとは	しりながら	なおうらめしき	あさぼらけかな
53	なげきつつ	ひとりねるよの	あくるまは	いかにひさしき	ものとかはしる
54)	わすれじの	ゆくすえまでは	かたければ	きょうをかぎりの	いのちともがな
(55)	たきのおとは	たえてひさしく	なりぬれど	なこそながれて	なおきこえけれ
56	あらざらん	このよのほかの	おもいでに	いまひとたびの	あうこともがな
<u>\$7</u>)	<mark>め</mark> ぐりあいて	みしやそれとも	わかぬまに	くもがくれにし	よわのつきかな
58	ありまやま	いなのささはら	かぜふけば	いでそよひとを	わすれやはする
59	やすらわで	ねなましものを	さよふけて	かたぶくまでの	つきをみしかな
60	おおえやま	いくののみちの	とおければ	まだふみもみず	あまのはしだて

<u> </u>	いにしえの	ならのみやこの	やえざくら	きょうここのえに	においぬるかな
62	よをこめて	とりのそらねは	はかるとも	よにおうさかの	せきはゆるさじ
63	いまはただ	おもいたえなん	とばかりを	ひとづてならで	いうよしもがな
64	あさぼらけ	うじのかわぎり	たえだえに	あらわれわたる	せぜのあじろぎ
65	うらみわび	ほさぬそでだに	あるものを	こいにくちなん	なこそおしけれ
66	もろともに	あわれとおもえ	やまざくら	はなよりほかに	しるひともなし
67	はるのよの	ゆめばかりなる	たまくらに	かいなくたたん	なこそおしけれ
68	こころにも	あらでうきよに	ながらえば	こいしかるべき	よわのつきかな
69	あらしふく	みむろのやまの	もみじばは	たつたのかわの	にしきなりけり
70	さびしさに	やどをたちいで	ながむれば	いずこもおなじ	あきのゆうぐれ
	ゆうされば	かどたのいなば	おとずれて	あしのまろやに	あきかぜぞふく
	おとにきく	たかしのはまの	あだなみは	かけじやそでの	ぬれもこそすれ
73	たかさごの	おのえのさくら	さきにけり	とやまのかすみ	たたずもあらなん
74)	うかりける	ひとをはつせの	やまおろしよ	はげしかれとは	いのらぬものを
75	ちぎりおきし	させもがつゆを	いのちにて	あわれことしの	あきもいぬめり
76	わたのはら	こぎいでてみれば	ひさかたの	くもいにまごう	おきつしらなみ
	せをはやみ	いわにせかるる	たきがわの	われてもすえに	あわんとぞおもう
78	あわじしま	かようちどりの	なくこえに	いくよねざめぬ	すまのせきもり
<u></u>	あきかぜに	たなびくくもの	たえまより	もれいずるつき	かげのさやけさ
80	ながからん	こころもしらず	くろかみの	みだれてけさは	ものをこそおもえ

(8) ほととぎす	なきつるかたを	ながむれば	ただありあけの	つきぞのこれる
② おもいわび	さてもいのちは	あるものを	うきにたえぬは	なみだなりけり
◯ ⑧ よのなかよ	みちこそなけれ	おもいいる	やまのおくにも	しかぞなくなる
⑧ ながらえば	またこのごろや	しのばれん	<mark>うし</mark> とみしよぞ	いまはこいしき
◯ 85 よも すがら	ものおもうころは	あけやらぬ	ねやのひまさえ	つれなかりけり
86 なげけとて	つきやはものを	おもわする	かこちがおなる	わがなみだかな
🗌 🕅 🐮 6 ರ ಹ の	つゆもまだひぬ	まきのはに	きりたちのぼる	あきのゆうぐれ
◯ ⑧ なにわえの	あしのかりねの	ひとよゆえ	みをつくしてや	こいわたるべき
◯ ⑧ たまのおよ	たえなばたえね	ながらえば	しのぶることの	よわりもぞする
◎ みせばやな	おじまのあまの	そでだにも	ぬれにぞぬれし	いろはかわらず
◯ ⑨ きりぎりす	なくやしもよの	さむしろに	ころもかたしき	ひとりかもねん
② わがそでは	しおひにみえぬ	おきのいしの	ひとこそしらね	かわくまもなし
□ ⅓ よのなかは	つねにもがもな	なぎさこぐ	あまのおぶねの	つなでかなしも
	やまのあきかぜ	さよふけて	ふるさとさむく	ころもうつなり
◯ 奶 おおけなく	うきよのたみに	おおうかな	わがたつそまに	すみぞめのそで
◯ ⑯ はなさそう	あらしのにわの	ゆきならで	ふりゆくものは	わがみなりけり
□ ⑨ こぬひとを	まつほのうらの	ゆうなぎに	やくやもしおの	みもこがれつつ
── ை かぜそよぐ	ならのおがわの	ゆうぐれは	みそぎぞなつの	しるしなりける
◯ ⑲ ひともおし	ひともうらめし	あじきなく	よをおもうゆえに	ものおもうみは
◯ ⑩ もも しきや	ふるきのきばの	しのぶにも	なおあまりある	むかしなりけり